



笑顔

人間ドックを終えた時、喫茶店で注文をした時、説明会で分からないことを質問した時、笑顔で対応してくれた人がいました。特に人間ドックでは、病気が見つかるかもしれないという不安で一杯の時の笑顔は、安心も感じられた心地よいものでした。

また、校長室からは、毎朝、出勤する職員の元気な挨拶と笑顔を見ることができます。もちろん、児童・生徒の「おはよう」の笑顔には、勝てませんが。

夏の研修会で、医師から「笑う」ことは、とても大切であると教わりました。笑うことで脳のドーパミンが出て活性化するというお話でした。また、メンタルコーチの「必笑」を合言葉に苦しい場面でも笑顔を絶やさなかった高校が甲子園出場を決めたように笑顔でプラス思考となり、力を最大限に発揮できると学びました。「笑顔」は、他の人にも元気やパワー、良い印象を与えるとともに自分自身にとっても、良い効果がある素晴らしいものだとは再認識しました。

全教職員で、笑顔を大切にして、児童・生徒の健やかな成長のため、多くの笑顔を見られるように努力していきます。(山賀)

